

たすく書道教室 二〇二四年三月 (令和六)

目習い

先日、東京にある国立博物

館と台東区立書道博物館の

二館で開催されている連携企

画「吳昌碩の世界」を観覧し

てきました。吳昌碩は、篆書の

臨書(※)作品が有名な、中国

の清の時代の書家です。

筆を持って書くことだけが

練習ではありません。いい書を

じっくりと見ることも大切で、

「目習い」といわれます。左記の

書展も見応えがありますよ。

★第五十二回 日本の書展

三月八日(金)〜十二日(月)

長野県立美術館

九時〜十七時

入場料八百円

(※臨書については

次号で)

夜行
列車

藤井靖石

卒業
写真

藤井靖石

谷間の
残雪

藤井靖石

小六・中学生

花なの

ふじ井り石

の春分

ふじ井り石

小三・四

★小中学生 三月の課題★

名犬

初めての行書、筆の流水を意識した美しい作品になった。この調子で。

左右

「右」の口が扁平になるとお良。横画左は「」の長さをよく区別できた。

作品紹介